

平成27年3月亀岡市議会定例会一般質問

亀岡市議会

## 平成27年3月亀岡市議会定例会 一般質問順序予定表

開催日及び開始予定時間		質問者（会派名）			質問方式		
3月10日(火)	10:00～	代表	1	堤 松男（新清流会）	一括		
	11:20～		2	馬場 隆（共産党議員団）	一括		
	13:40～		3	木曾 利廣（緑風会）	一括		
			休憩				
	15:20～		4	藤本 弘（公明党議員団）	一括		
3月11日(水)	10:00～	個人	5	石野 善司	一問一答		
	10:35～		6	三上 泉	一括		
	11:10～		7	平本 英久	一問一答		
			休憩				
	13:00～		8	山本由美子	一問一答		
	13:35～		9	明田 昭	一問一答		
	14:10～		10	並河 愛子	一括		
			休憩				
	15:05～		11	竹田 幸生	一問一答		
	15:40～		12	富谷加都子	一問一答		
	3月12日(木)		10:00～	個人	13	奥村 泰幸	一問一答
			10:35～		14	田中 豊	一問一答
11:10～		15	湊 泰孝		一問一答		
		休憩					
13:00～		16	小島 義秀		一問一答		
13:35～		17	小川 克己		一括		
14:10～		18	小松 康之		一括		
		休憩					
15:05～		19	奥野 正三		一括		
15:40～		20	福井 英昭		一問一答		
3月13日(金)	10:00～	個人	21	酒井安紀子	一問一答		
	10:35～		22	菱田 光紀	一問一答		

1回目の質問後休憩

### 【注意】

質問者の日程については予定であり、議事の進行により変更する場合があります。ご了承ください。

平成27年3月亀岡市議会定例会 一般質問通告書

番号	質問者 質問日時	質問事項	質問要旨	答弁者
1	<p>堤 松男 (新清流会) 3月10日(火) 10:00~</p> <p>代表質問</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>2 介護保険事業の実施について</p>	<p>栗山市長3期最終年度にあたり、平成27年度は任期を総括して公約達成に向け予算編成を行われたところであるが、公約どおり達成できるのか財政問題含め問う。</p> <p>(1) 第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～に掲げている重点施策と3期目選挙公約は達成できるのか。</p> <p>(2) 当初予算案歳入において、自主財源が前年度対比2.2%下がると見込んでいる。自主財源確保は政策を推進する上で最も大事な事と考えるが、どのような努力を考えているのか。</p> <p>(3) 財政調整基金が底をついている感がするが、想定できない災害等が発生した時に取り崩し等対応できるのか。基金積み立てについて具体的にどのように努力されるのか。</p> <p>(4) この秋市長は3期目4年の任期満了を迎えるが、4期目に向けどう考えておられるのか、心緒進退について現在の心境を問う。</p> <p>栗山市政の主要施策である、(仮称)京都スタジアム建設について問う。</p> <p>(5) スタジアム建設関連予算に5億6千万円を計上しているが、推進状況は。</p> <p>(6) 予算にスタジアム関連用地買収費が計上されている。これまでの買収状況及び今後の買収見通しは。</p> <p>(7) スタジアムを核とした都市公園整備の具体的な計画及びアユモドキの生息育成との整合性についてどのような研究、計画を進めているのか。</p> <p>(8) 当初計画の完成年度どおり進んでいるのか。全体の進捗状況は。</p> <p>本年4月より改正介護保険法が実施される。この制度は介護保険制度の地域支援事業への移行として、平成24年閣議決定され、平成26年通常国会で法案として成立した。平成27年4月から29年度末までに導入し、平成30年にはすべての市町村で完全実施が義務付けられている。</p> <p>(1) 本市における準備状況と予想される実施時期はどう計画されているのか。</p> <p>(2) 現行の介護予防事業の中には訪問介護と通所介護があり、それぞれ訪問型、通所型サ-ビスとして実施されている。既存の事業所を指定されるほかに、地域の多様な主体の活用として、NPO、民間事業所、ボランティアなどを活用するとあるが、募集規模と選定基準をどう検討しているのか。</p> <p>(3) 地域包括支援センタ-への支援策はどう検討されているのか。</p>	<p>市長</p> <p>所管部長</p>

		<p>3 京都地方法務局亀岡出張所の統合について</p> <p>4 桂川右岸道路整備について</p> <p>5 教育環境整備及び学校の再編について</p>	<p>平成18年6月30日閣議決定された「国の行政機関の定員の純減について」において、定員削減の取り組みの一つとして法務局・地方法務局の支局・出張所を統廃合すると明記されており、京都地方法務局亀岡出張所の統合計画があり、本年9月ごろに園部支局に統合されると聞いているが、具体的に本市に話が来ているのか。</p> <p>桂川右岸道路の千代川町から大井町までの道路整備についてはこれまで何回も質問してきたところである。早期実現に向けた整備計画を問う。  (1) 宇津根橋の架け替えと同時に宇津根橋右岸から保津橋までの右岸堤防が防災に強く、道路幅員が大幅に整備されるが、上流の月読橋から宇津根橋間の整備計画は検討しているのか。  (2) 府道亀岡園部線の七谷川以北、馬路町三日市までの整備計画及び完成年度の見通しは。</p> <p>教育の環境整備の充実を図るためエアコン設置や学校の再編、統合については、関心が高いところである。  (1) 18小学校8中学校の普通教室のエアコン設備は現在何校に整備されているのか。  (2) 今後大規模、小規模、全面改築等で設置計画があるのか。  (3) 少子化が進む中で 小中学校統合計画を検討しているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>教育長</p>
2	<p>馬場 隆 (共産党議員団)</p> <p>3月10日(火) 11:20~</p> <p>代表質問</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>2 安倍内閣の暴走ストップと地方政治について</p>	<p>今年は戦後70年、市制施行60年の節目の年である。先の第2次世界大戦・15年戦争では2千万人を超えるアジア諸国民、310万人以上の日本人の犠牲の上に、今の憲法が作られた。平和都市宣言の本市だからこそ進めるべき、施策の基本について問う。  (1) 平成27年度施政方針演説について所見は。  (2) 恒久平和に向けた次年度の取り組みは。  (3) 過激派武装組織I S I L (アイシル)の蛮行について  日本政府の対応への冷静な分析・検証が必要と考えるが所見は。  過激集団の資金源を断つ国際連帯が必要と考えるが所見は。  (4) 子どもの医療費無料化の拡充について、京都府が中学生まで制度を充実させたもとでの本市の方向は。  (5) 亀岡駅北開発の中止について  市街地とするのに適当でない地域との指摘への基本的な考え方は。  盛土することで洪水被害を回避する手法への批判にどう対応するのか。  (6) スタジアム基本設計に係る京都府の公募型プロポーザル方式による業者選定についての所見は。</p> <p>第3次安倍内閣は暴走政治の中、その経済政策「アベノミクス」をすすめている。しかし、アベノミクスは、物価高や年金の引き下げなど、お金をとりあげ、</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

			<p>大企業だけが285兆円もの内部留保をためこんでいる。</p> <p>(1) アベノミクスによる市民生活への影響について 本年度予算の市税収入の見込みは。 自治体財政と市民生活への影響は。</p> <p>(2) 消費税再増税と社会保障の後退について トリクルダウン経済政策は誤っているのではないか。 「消費税再増税は中止に」への所見は。 消費税再増税反対の意思表示は。</p> <p>(3) 原発再稼働問題について 高浜原発の「新規制基準」適合決定は撤回を求めるべきではないか。 「同意権」を持たない京都府の原子力安全協定は再稼働容認であるが、所見は。</p> <p>(4) 農協「改革」とTPP参加問題について 改革をするなら、協同組合にふさわしく自主的に行うべきと考える。所見は。 政府がやるべきは米価暴落への緊急対策ではないか。所見は。 日本の経済主権を脅かすTPPからの撤退への所見は。</p>	
		3 第16期亀岡市議会議員選挙について	<p>吹田市では、ガンバ大阪（J1）が、民間の資金を結集しスタジアム建設を行っている。一方、京都府と亀岡市は府・市民の税金を使って、スタジアムを建設しようとしている。今期市議会議員選挙は、「プロのサッカースタジアム建設の是非」の市民意思が、明確に示された選挙結果ではないか。</p> <p>(1) 選挙結果そのものをどうみるか。</p> <p>(2) 低投票率の問題について所見は。</p> <p>(3) 選挙公報の時期や期日前投票（市民ホール）における車いすでの投票に対する配慮は。</p> <p>(4) 市長推薦について、二元代表制になじまないのではないか。</p> <p>(5) コミュニティ施設の選挙事務所化について、由々しき問題と感じないか。</p> <p>(6) 公の施設の占有についての所見は。</p>	市長 選挙管理委員会 委員長 所管部長
		4 雇用問題と中小企業振興策について	<p>雇用問題と中小企業振興策について問う。</p> <p>(1) 雇用問題をどう認識しているか。</p> <p>(2) 本市中小零細企業の実態をどう把握しているか。</p> <p>(3) (仮称)中小企業振興基本条例が必要ではないか。</p> <p>(4) 公契約条例への考えは。</p>	市長 所管部長
		5 教育条件の整備について	<p>教育条件の整備について問う。</p> <p>(1) 中学校給食の実現に向けての所見は。</p>	市長 教育長
3	木曾 利廣 (緑風会) 3月10日(火) 13:40～  代表質問	1 市長の政治姿勢について	<p>安全・安心笑顔と絆のしあわせ実感都市を目指す、栗山市長3期目の最終年度の予算編成に当たって、最重要視した点は何か。</p> <p>(1) 3期目の Manifesto の目標達成はできるのか。</p> <p>(2) セーフコミュニティの推進と市制60周年にふさわしい予算となっているのか。</p>	市長 所管部長

			(3) 重点施策の推進と、財政健全化計画にふさわしい予算となっているのか。	
	2 大規模スポーツ施設関連事業経費について	<p>亀岡市の経済・観光等の活性化、賑わいのあるまちづくりの推進、亀岡駅北周辺整備計画との連携による都市核の形成、アユモドキの保全と青少年の健全育成のための新たなランドマークとなる京都スタジアム(仮称)を含む「京都・亀岡保津川公園」の整備計画の推進事業を進めるにあたって、</p> <p>(1) 事業推進と財政健全化のもと、補助金を含む50億円で財政出動を抑制できると答弁があったが、現状はどうか。</p> <p>(2) 用地買収は12月中に完了と答弁があったが、現在の状況はどうか。</p>	市長 所管部長	
	3 新火葬場建設計画について	<p>現火葬場の老朽化と、今後、全国的に進む高齢化に伴う火葬炉不足解消のための整備計画は。</p> <p>(1) 整備計画の規模と環境に配慮した計画内容とは。</p> <p>(2) 整備計画周辺住民との事前の丁寧な説明と、事業の協力体制の方向は。</p> <p>(3) 本市以外の近隣市町との連携と財政負担は。</p>	市長 所管部長	
	4 有害鳥獣対策について	<p>野生鳥獣による農作物被害の甚大さから、鳥獣の個体数減少のために、捕獲対策の実施体制の整備は。</p> <p>(1) 篠町(王子区・篠区・山本区)におけるサル駆除対策と協力体制の拡充は。</p> <p>(2) 京都府への要望と本市のさらなる予算確保は。(柵・脅し花火等)</p>	市長 所管部長	
	5 土地区画整理事業について	<p>地域の特性を生かした、市民、企業、行政の協働による魅力あふれる元気なまちづくりのための良好な宅地供給促進、道路等の公共施設の整備推進と事業施行者に対する技術援助及び負担金の支援を行っている。</p> <p>(1) 南丹都市計画事業亀岡駅北土地区画整理事業の推進の状況は。(平成26年度～平成31年度)</p> <p>(2) 南丹都市計画事業大井町南部土地区画整理事業の推進の状況は。(平成21年度～平成30年度)</p>	市長 所管部長	
	6 減災対策事業について	<p>内水氾濫による水害防止対策を目的とした、緊急を要する排水路整備及び河川改修の実施状況は。</p> <p>(1) 排水路新設改良事業の実施箇所は。</p> <p>(2) 河川維持経費の河川は何箇所か。</p>	市長 所管部長	
	7 子育て支援・児童の健全育成について	<p>保護者の就労支援や、児童の適切な遊びや生活の場を提供して児童の健全育成を図ることを目的として事業実施しているが、</p> <p>(1) 放課後児童会の拡充計画は、今年度よりどの様にされたのか。</p> <p>(2) 今後のさらなる推進計画は。(6年生まで)</p> <p>(3) 児童の急増する安詳小学校の対策は。</p> <p>(4) 請願採択の普通教室への空調設置計画は。</p>	教育長 所管部長	

4	<p>藤本 弘 (公明党議員団) 3月10日(火) 15:20~</p> <p>代表質問</p>	<p>1 「地方版総合戦略」と「第4次亀岡市総合計画」について</p> <p>2 地域住民生活等緊急支援のための交付金の取組みについて</p> <p>3 球技専用スタジアムを活用した新たなまちづくりについて</p>	<p>国は、地方自治体に対し、国の「総合戦略」に基づき、人口動向や将来展望を示す「地方版総合戦略」を策定するように求めているが、</p> <p>(1) 亀岡市においては、既に「第4次亀岡市総合計画」が策定されている。「地方版総合戦略」については、新たに策定しようとするものか。また、総合計画との関係性・整合性はどのように考えるか。</p> <p>(2) 第4次亀岡市総合計画の前期基本計画が本年度終わるが、総括についてはどのように考えているか。 平成27年度は、後期基本計画を策定しなければならない。</p> <p>(3) 前期計画で実施を計画していた市民意識調査等は、いつ頃、どのようなかたちで考えているのか。</p> <p>(4) 後期計画策定にあたり、外部識者、専門家、市民等を交えた検討委員会のようなものは、考えているか。</p> <p>(5) 前期基本計画の進捗状況・総括を踏まえ、後期基本計画への反映(改善・見直し)は、いつ頃、どのような形で公表するのか。(年内か。)</p> <p>国において2014年度補正予算で創設された「地域住民生活等緊急支援のための交付金」には、自治体が計画した政策に使える交付金2500億円が盛り込まれている。この交付金を活用しプレミアム付商品券等、地域の消費を掘り起こしたり、低所得者の生活支援に取り組むよう求めている。</p> <p>(1) 亀岡市においては、「プレミアム付商品券」について、どのような検討がなされているのか。 事業の名称(市制60周年記念プレミアム商品券等) プレミアム率 事業規模(総発行額) 発行時期と使用期間 使用範囲(市内全域、チェーン店、大型店も使用可能か。旅行会社、農協等も含むのか。) 経済効果の予想は。</p> <p>(2) 京都市の様な生活支援型の交付金の考えは。</p> <p>(3) 抽選券発行など、地元産品や三大観光との連携は。</p> <p>スタジアムが完成すると、交流人口の増加と市内のインフラ整備の促進、さらなる地域経済の発展が図られてゆく。</p> <p>(1) 府の「球技専用スタジアム」の建設工事費は、200億円とも言われている。亀岡経済の発展のためにも、工事の下請け・孫請け等、亀岡市内の業者が少しでも潤うよう、京都府への働きかけはされているのか。</p> <p>(2) 市制60周年を記念して「スタジアムによる新たなまちづくり」のシンポジウムはあったが、まだまだ宣伝不足のように思う。今後、選手や講師を招いての講演会、スタジアムの説明会等、積極</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
---	--	---	---	--

		<p>4 広域幹線道路の整備について</p>	<p>的に宣伝していくことが大事と思うが、その考えはあるか。</p> <p>亀岡市内において広域幹線道路の整備が進められている。</p> <p>(1) 新名神高速道路の茨木北インターが開通すると、府道茨木亀岡線、府道枚方亀岡線に多くの車が流入してくる。いずれも幅員狭小な区間が何箇所もあり、大変危険である。今後の整備計画は。</p> <p>(2) 府道茨木亀岡線も、大阪の市街地から来ると、採石場の手前、車作トンネルまではバイパスのように整備されているが、京都府の境界まで来ると全く工事が進んでいない。今後、延伸の整備計画はあるのか。また、要望はしているか。</p> <p>(3) 国道372号湯ノ花工区の整備が終わり、府道天王亀岡線との接続部分の工事がなされているが、国道477号本梅交差点から府道天王亀岡線湯の花方面へ入る部分の整備計画はどこまで進んでいるか。</p> <p>(4) 府道天王亀岡線本梅区域と畑野町を結ぶ区間はヘアピンカーブが多く大変危険である。今後バイパス化計画等は考えているのか。</p> <p>(5) 国道372号湯ノ花工区の整備終了後の湯の花温泉街道路の整備はどのように考えているか。また、バスを除く大型車両の進入規制等もどのように考えているか。</p> <p>(6) 国道9号、京都縦貫自動車道が災害等で使えなくなった場合、代替えとして亀岡と京都を結ぶもう1本の道路が必要と思うが、府道亀岡園部線と新丸太町をつなぐ府道亀岡新丸太町線の早期促進について、どのように手を打っているのか。</p> <p>(7) 阪神地域と南丹地域を結ぶ地域高規格道路、京都中部阪神連絡道路の計画決定と事業化に向けてはどのように取り組んでいるか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>5 人口減少の歯止めについて</p>	<p>平成28年度より始まる「後期基本計画」においては、人口減少に歯止めをかけ、若者が亀岡に住み、地元で企業に就職ができる、また、地元で安心して子育てができる、そのようなまちづくりに変えていかなければならない。地方創生の観点もそこにあるのではないかと考える。</p> <p>(1) 京都縦貫自動車道の大井・亀岡・篠インターを中心に、広域道路網を生かした産業機能の誘導と集積が図られている。若者が亀岡で働ける企業誘致の状況はどうか。また、今後の対策はどのように考えているか。</p> <p>(2) 企業の地元雇用に対する補助金等の制度はどのようにになっているか。</p> <p>(3) 香川県等では、奨学生が大学卒業後、地元県内で就職すれば、奨学金の返済を一部免除する制度を始めている。亀岡市においても、このような制度を創設する考えはないか。</p> <p>(4) 若者の子育て支援の一環として、年々増加する空き家を貸し出し、リフォーム代の補助や家賃の</p>	<p>市長 所管部長</p>



			半額補助等を行い、京阪神から若者を呼び込む考えはないか。(3万から4万円までで一軒屋に住めるのなら多くの若者が集まる。)	
	6 公共施設の老朽化対策について	公共施設等の老朽化対策について、総合管理計画の策定など総合的、計画的に取り組まれている。 (1) 公共施設等総合管理計画策定経費として、950万円が27年度予算に計上されている。調査の方法は、外部識者等を交えた検討会が持たれるのか。また、検討の結果は「後期基本計画」に明記されるか。 (2) 亀岡会館は、耐震補強も解体も難しいとのこと、今後の検討課題として、京都学園大学と協議し、その敷地にかめおかコンサートホール等を企画・検討していく考えはないか。 (3) 文化資料館の老朽化に伴い、現在、新資料館の建設に向けて検討が進められている。進捗状況と今後のスケジュールは。		市長 所管部長
	7 景観計画と景観条例の制定について	亀岡市においては、平成22年「豊かな景観がはぐくむにぎわいと文化が織りなす共生のまちかめおか」を目指し、今後の景観形成の方針を示した「亀岡市景観計画(素案)」が発表され、以来、策定に向けて取り組まれてきた。 (1) 景観計画を計画だけに終わらせず、より実効性のあるものにするためには、景観条例の制定が必要と考える。いまの進捗状況と今後の取り組みは。		市長 所管部長
	8 北陸新幹線「小浜ルート」の早期決着と亀岡への新駅誘致について	3月14日、北陸新幹線の長野から金沢までが完成し開業する。金沢・福井県敦賀間を3年間前倒しにした2023年春までに、金沢・福井間はさらに2年間前倒しにして開業するとしている。そこから大阪まで延伸する敦賀以西については、ルートや開業時期が決まっていない。 (1) 小浜ルートの決着と新駅誘致に向けた活動の進捗状況と今後の市長の決意は。		市長 所管部長
	9 亀岡市の教育の諸課題について	文部科学省は、本年1月「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」を公表した。本市においても亀岡市学校規模適正化検討会議を持ち、学校の再編についても検討していくとしている。 (1) 国の方針も踏まえ、校区の見直しや、統廃合の方針については、いつまでに方向性を出そうとしているのか。 (2) 現在、川東小学校と高田中学校の小中一貫校をめざした校舎の改築工事が進められているが、他にもこのような小中一貫の統廃合を目指した検討はされているのか。 学校規模適正化のほかにも、教育をめぐる、中学校の給食実施、環境整備等課題は山積みである。 (3) 本年、文部科学省の調査では、全国の国公私立中学校の完全給食の実施率は80.1%、小学校では98.4%にのぼると発表している。京都府下は公立中学校で72.7%、公立小学校は全校		教育長 所管部長

			<p>実施されている。本市においては、中学校給食の実施について、どのように考えているのか。また、後期基本計画には明記するのか。</p> <p>(4) 本年度で学校の耐震化も終了の予定である。後期基本計画では、各小中学校へのエアコンの設置をどのように考えるか。</p> <p>(5) 学校のトイレの改修と洋式化については、後期基本計画ではどのように考えるか。</p> <p>(6) プロ選手を招いたスポーツ教育の充実について、現状と今後の取り組みの考えは。</p> <p>亀岡市の教育理念に「ともに学び ともに育ち ともに生きる かめおか教育の創造」とある。</p> <p>(7) 「何のために学ぶのか」を明確にし、学ぶ楽しさを教えることこそ大切ではないかと思うが、どのように考えるか。</p>	
5	<p>石野 善司 3月11日(水) 10:00～</p> <p>一問一答</p>	<p>1 亀岡市議会議員一般選挙について</p> <p>2 亀岡市文化資料館の管理運営について</p> <p>3 亀岡市新資料館構想策定について</p> <p>4 北陸新幹線若狭・口丹波ルート決定について</p>	<p>地域住民の福祉向上と地域社会の発展のため、地方公共団体の果たす責務は極めて重要である。このため、住民の代表者を選ぶ地方選挙の有する意義は誠に重大であり、地方自治の一層の伸展を期するためにも、この選挙が明るく公正に行われることが望まれる。</p> <p>(1) 投票所における投票立会人となる資格要件は。</p> <p>(2) 開票所における選挙立会人となる資格要件は。</p> <p>(3) 立会人等への日当は。</p> <p>亀岡市の文化施設として、市内外の多くの人々に、ふるさと亀岡の歴史・文化・自然環境など、亀岡の魅力を理解・実感してもらえるよう創意工夫を凝らした各種展示事業を開催してきた。</p> <p>(1) 今日までの展示成果は。</p> <p>(2) 本年は市制60周年、戦後70年の節目の年である。平成27年度の展示事業計画は。</p> <p>第4次亀岡市総合計画に明記された新資料館構想の策定に向けた策定委員会の検討は。</p> <p>(1) 平成26年度の進捗状況は。</p> <p>(2) 平成27年度の基本構想策定に向けた取り組みは。</p> <p>北陸新幹線の長野、金沢間延伸開業を3月14日に控え、京都経済界に危機感が広がる中、大阪までの早期延伸を求める声が強まっている。</p> <p>(1) 北陸新幹線若狭・口丹波ルートの閣議決定以来、42年が経過する。本市の取り組み状況は。</p> <p>(2) 2023年春に金沢、敦賀間が延伸予定であるが、ルート誘致に声を上げていくのか。</p>	<p>市長 選挙管理委員会 委員長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
6	<p>三上 泉 3月11日(水) 10:35～</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p>	<p>政治情勢や社会情勢が地方自治体に及ぼす影響に不安や懸念が広がる今日において、住民の命と暮らし・安全を守る「防波堤としての役割」を発揮する取り組みや、地方自治体の存続と発展を期する新たな模索や試みが各地で始まっている。亀岡市においても、人口減少を食い止め、市民が市政に関心をもって積極的に参画することができる、魅力ある亀岡市にするための</p>	<p>市長</p>

		<p>2 学校教育条件整備について</p> <p>3 亀岡市の小学校専科教育の充実について</p>	<p>方策が早急に求められる。そこで以下の点について市長の姿勢を問う。</p> <p>(1) 大型公共事業や外部からの「起爆剤」頼みの施策から、市民参加による地域要求の実現を柱とする「地域循環型の経済発展」の重視へと、税金の使い方を抜本的に変えるべきではないか。</p> <p>(2) 「まちづくり」は「人づくり」であると考えている。亀岡市を担う人材をいかに育てるかという点で、教育の重要性について、市長の考えを問う。</p> <p>(3) 現時点での教育分野への予算配分は十分だと考えているか。</p> <p>子どもや保護者・地域の願いからしても、他の自治体の動向を見ても、また、地域循環型経済の推進という観点からも、学校の教室へのエアコン設置、中学校給食の実施を具体化すべきである。</p> <p>(1) 教室へのエアコン設置は早急を実施すべきだが、具体的な計画はあるのか。</p> <p>(2) 亀岡市教育振興基本計画(かめおか教育プラン)にも、「今後の小中学校給食のあり方の検討」とあるが、中学校給食の実施も視野に入れた検討と理解してよいか。また、いよいよ実施に向けた検討に入るべきではないか。</p> <p>小学校における「専科教育」の実施は、亀岡市が京都府内でも先駆的に始めた誇れる制度である。これをさらに充実させることが、学力の向上等、教育効果をあげることにつながると考える。また、これまでの実績をアピールし、京都府が責任をもってこれらの制度を実施するよう求めるべきである。</p> <p>(1) 現在における実施状況と成果・課題は。</p> <p>(2) 授業を受け持つ時間数や勤務内容、報酬等、勤務条件で後退はないか。教育力向上、優れた人材の確保という観点からも、さらなる充実を図るべきだと考えるがどうか。</p> <p>専科教育を小中一貫教育の中に位置づけるというのも理解できなくはないが、兼務でなく、学校ごとに人員を配置して力を発揮してもらうことが効果的であると考えている。</p> <p>(3) 定数配置基準の改善などを、引き続き京都府教育委員会に求めていってほしいが、そういった努力はなされているか。</p>	<p>市長 教育長</p> <p>市長 教育長</p>
7	<p>平本 英久 3月11日(水) 11:10~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 篠町牧田川上流河川改修について</p>	<p>篠区地内を流れている準用河川牧田川の改修は平成21年度より第1期事業区間として下流域480mを改修し、26年度完了と伺っている。近年の異常気象や雨量を鑑みると上流域の第2期改修の早期完成を望みたい。</p> <p>(1) 第1期事業については、平成13年に河川改修要望を提出し、平成21年度より順次改修整備を実施し、完了まで約7年かかっているが、第2期事業区間の完成目途はどうなっているか。</p> <p>(2) 第2期事業区間の早期完成に向けて懸案事項はあるのか。あるとすればどのような事があげられ</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 地域公共交通について</p> <p>3 公衆街路灯の設置について</p> <p>4 空き家の適正管理、活用について</p>	<p>るか。</p> <p>平成25年度策定の亀岡市地域公共交通計画において、篠町の空白地域解消及び交通アクセス向上に取り組むこととされており、駅や病院への移動手段を補完するコミュニティバスの運行について協議されてきた。</p> <p>(1) 実際の運行時期はいつ頃を想定しているのか。</p> <p>(2) バス停は何箇所位を想定しているか。</p> <p>(3) 将来的に、市道北古世西川線を通じたJR馬堀駅・亀岡駅間の接続はいつ頃を想定しているか。</p> <p>市道馬堀停車場篠線の一部開通により、防犯上の観点から街路灯の設置が必要と思われる。</p> <p>(1) 街路灯(防犯灯)の設置について計画はあるのか。あるのであれば設置予定時期は。</p> <p>(2) ないのであれば設置検討について所見は。</p> <p>亀岡市内においては空き家が多くなり、近隣住民からは防犯上の問題や災害時の被害拡大に不安を持たれている。</p> <p>(1) 長期間放置されている空き家の把握ができているか。</p> <p>(2) 空き家の所有者と協議又は相談できているか。</p> <p>(3) 空き家の有効活用について計画や案はあるか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
8	<p>山本由美子 3月11日(水) 13:00~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 健康増進の充実について</p> <p>2 認知症対策(新オレンジプラン)について</p>	<p>高齢化の進展や医療の高度化により、医療費は年々増加している。国民健康保険制度を将来にわたって安定的に運営するためには、市民の主体的な健康づくりを支援し、健康意識の高揚を図り、増大する医療費の抑制と健康寿命の延伸に取り組むことが重要である。</p> <p>(1) データヘルス計画の策定状況は。</p> <p>(2) インターネットを活用した健康情報提供サービス「QUPiO(クピオ)」の申込み件数及び今後の課題は。</p> <p>(3) 保健事業として、個人の健康・予防に向けた取り組みに応じて、ヘルスケアポイントの付与や現金給付などを行う考えは。(例えば岡山県総社市の健康推進奨励金など)</p> <p>(4) 特定健診の血液検査で、胃がんリスク検診を実施する考えは。</p> <p>(5) 特定健診の集団健診時に骨密度測定を実施する考えは。</p> <p>厚生労働省研究班は、認知症の高齢者数が2025年に最大で約7百万人に達するとの推計を発表した。政府はこれまでのオレンジプラン(認知症施策推進5か年計画)を国家戦略へと拡充し、「認知症施策推進総合戦略」(新オレンジプラン)を策定した。</p> <p>(1) 認知症サポーターの養成と活動支援の考えは。</p> <p>(2) 認知症ジュニアサポーター育成の現状と今後の計画は。</p> <p>(3) かかりつけ医認知症対応力向上研修の受講者数は。あわせて、受講啓発の取り組みの現状と研修</p>	<p>所管部長</p> <p>所管部長</p>

		<p>3 多子世帯の支援強化について</p> <p>4 水道未普及地域における補助金制度の拡充について</p>	<p>修了者の市民への周知はどうか。</p> <p>(4) 認知症初期集中支援チーム設置の考えは。</p> <p>(5) 認知症地域支援推進員の配置についての取り組みは。</p> <p>(6) 認知症の人の介護者への支援の取り組みは。</p> <p>少子化の原因には、若者の雇用の不安定や晩婚化などの問題が複雑に絡み合っている。安心して子どもを産み育てられる環境づくりを社会全体で進めていくことが重要である。</p> <p>(1) 本市における多子世帯への具体的支援は。</p> <p>(2) こども医療費助成を中学校卒業まで拡充する考えは。</p> <p>(3) 3人目以降の幼稚園、保育所における保育料免除について減免措置の要件を緩和する考えは。</p> <p>(4) 特典やサービスを受けられる「子育て応援パスポート」が府の事業として導入され、本市でも利用されている。対象者への周知は。</p> <p>(5) 産前産後サポート事業に取り組む考えは。</p> <p>平成24年度より公営水道等の給水区域以外の地域において、安定して良質な飲用水等を確保するため取水施設等を整備した場合に、その経費の一部を補助する制度が創設された。</p> <p>(1) 配管も取水施設の一部であり、補助金の対象にすべきと考えるが、所見を。</p>	<p>所管部長</p> <p>所管部長</p>
9	<p>明田 昭 3月11日(水) 13:35～</p> <p>一問一答</p>	<p>1 まちづくりについて</p> <p>2 人口減少の歯止めについて</p>	<p>平成24年12月、京都府山田啓二知事より大規模スポーツ施設の建設予定地を亀岡市に決定した旨の発表が行われた。本市にとっては平成23年にサッカースタジアムを京都に実現を願う署名活動を皮切りに誘致の声が出始め、市民1万723名の名前を連ねて京都府のスポーツ施設のあり方を検討する懇話会に提出され、同年10月には大規模スポーツ施設の誘致をマニフェストに掲げた栗山市長が当選をされ、本市への誘致が市民に理解され、その動きが本格化したのである。この様な流れの中で、平成24年4月に亀岡市への誘致に5万6012人の署名簿ともに要望書が京都府に提出され、市民の期待を背に年末の誘致決定となったところである。そこで大規模スポーツ施設の課題について問う。</p> <p>(1) 今何が提起され課題となっているのか。</p> <p>(2) 行政のミスは何処かにあったのか。</p> <p>(3) 市民の期待にどう応えるのか。</p> <p>(4) 府、市協調の歯車は噛み合っているのか。</p> <p>(5) 完成までの道のりは。</p> <p>(6) 市と府の経済波及効果は。</p> <p>人口減少・超高齢社会へ突入した時代を迎え、現状のまま何ら対策をとらなければ、自治体の1/4以上は消滅する可能性が指摘され、京都府内においても13市町村が消滅の恐れがあるといわれている。人口減少は亀岡市の存亡に関わる重大な課題として、抜本的な対策を早急に講じることが重要である。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>

		<p>今日迄も、市におかれては様々な取り組みが実施をされているが、如何なる効果が有ったのかについて問う。</p> <p>(1) 亀岡市として人口減少対策の核となる中心的な施策は何であるか。</p> <p>(2) 人口の転入、転出の傾向は。</p> <p>(3) 亀岡版少子化対策と言える他の自治体より優れた施策は。</p> <p>人口を増やすには転入もあるが、やはり本市における出生率の向上が不可欠である。</p> <p>(4) 現在、市内で子どもを産める施設はどのようになっているのか。</p> <p>(5) 1院から現在は2院あるようだが、今日までの経過とその効果は。</p> <p>(6) 27年度は国や府がそれぞれ対策を打たれると思うが、どのようなものがあるのか。</p> <p>(7) 国では地方創生が安部内閣の第3の矢として、成功するか否かに日本の今後がかかっていると言われている。そこで妊娠期から子育て期に渡る支援について、他の自治体にないまさに亀岡版創生として講じていくべきと考えるがどうか。</p>	
	3 亀山城下町地区の公共施設について	<p>市制60周年を迎えた亀岡市において、歴史は何にも代えがたき貴重なものであるが、反面、形あるものは経年劣化をしていくものであり、その典型が火葬場、亀岡会館、文化資料館である。何れも亀山城下町地区に立地しており、今後について他の課題とともに問う。</p> <p>(1) 亀岡会館の今後は。</p> <p>(2) 文化資料館の今後は。</p> <p>(3) 幼稚園跡地の今後は。</p> <p>(4) 電線類地中化についてはどうか。</p>	市長
	4 学校の先生について	<p>教員の資質が問題となり、その時々で教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身につけることで、教員が自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊敬と信頼を得ることを目指すとして、平成21年4月1日から教員免許更新制が導入されている。</p> <p>(1) 導入から今日まで相当時間の経過があるが、導入後の成果について問う。</p> <p>(2) 取り組みの詳細は。</p>	教育長
	5 市立病院について	<p>病院の体制が変わったようであるが、ここ数年、経営努力が実り、また改革プラン等の成果もあり、財政は好転の方向に向かっていると理解をしていたが、平成25、26年度と厳しい状況になっているようである。昨年は創立10周年を迎えられ、亀岡市立病院が市民に喜ばれる病院として真価が問われるところである。</p> <p>(1) 新しい院長を迎え、医師、看護師他多くのスタッフが必要と言われているが、今後どのような経営方針のもと運営をされるのか。</p> <p>(2) 栗山市長の公約であった地域医療連携の効果や実績は。</p>	病院事業管理者

10	並河 愛子 3月11日(水) 14:10~	1 亀岡会館について  2 国民健康保険料について  3 老人医療助成制度について  4 介護保険制度について  5 市立病院の運営について	<p>亀岡会館は、築45年となり耐震診断の結果、倒壊または崩壊する危険性が高いとされている。市民の文化や集いなど手軽に使用できる亀岡会館のような施設はどうしても必要と市民の間からも要望は強い。</p> <p>(1) 昨年末に判明すると言われた耐震診断結果はどうか。</p> <p>(2) これまで使用されていた方への会場確保についての対応は。</p> <p>(3) 文化施設としての同様の会館の存続、若しくは新しい会館を望んでいるが、今後の考えはどうか。</p> <p>格差と貧困が広がる中、払いたくても高く払えない国保料や、医療を受けられない実態がある。安心して医療が受けられる制度の充実が望まれる。</p> <p>(1) 来年度の国保料の1世帯当たり、1人当たりの保険料の見直しはどうか。</p> <p>(2) 一般会計からの繰り入れを増やして、国保料の値上げは回避すべきと考えるが、所見は。</p> <p>京都府の独自制度として利用されている方からは大変喜ばれているが、来年度から制度の見直しが行われる。</p> <p>(1) 特例措置の内容は。</p> <p>(2) 対象者が限定される方向であるが影響はどうか。</p> <p>(3) 74歳までの1割負担を京都府の独自制度として創設すべきと思うが、所見は。</p> <p>第186回通常国会で「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」が可決されている。厚労省は、この法律に基づき要支援1・2の訪問介護と通所介護を2015年4月から順次地域支援事業に移行するようにと自治体に指示している。亀岡市においては、3月定例会で提案された条例案要綱で、平成29年3月31日までの間には行わずとされている。</p> <p>(1) この法律に対する所見と今後の考え方は。</p> <p>(2) 第6期介護保険の保険料改定の考え方は。また一般会計からの繰り入れで軽減の考えはどうか。</p> <p>市民の願いとして市立病院は建設された。開院10年を迎えて市立病院の果たす役割は大きい。政府は、2025年度を目標年度として、医療・介護総合法を進めようとしている。その内容は患者負担増と給付削減、医師や入院病床など供給体制の抑制と言われている。</p> <p>(1) 医療・介護総合法に対する所見は。</p> <p>(2) 全ての診療科に常勤医師の配置が必要と思うが現状はどうか。</p> <p>(3) 医師不足で入院ができないという心配はないのか。</p> <p>(4) 医師確保はどのように努力されているのか。</p> <p>(5) JR4駅を經由した病院への直行バスの考え方は。</p>	市長 所管部長  市長 所管部長  市長 所管部長  市長 所管部長  市長 病院管理者 所管部長
----	-----------------------------	--	---	---

11	<p>竹田 幸生 3月11日(水) 15:05~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 JR千代川駅東側広場整備について</p> <p>2 ガレリアかめおかコンベンションホールの音響効果の充実について</p> <p>3 既存スポーツ施設(月読橋球技場)の管理、整備について</p> <p>4 国民健康保険の財政状況について</p> <p>5 介護保険法改正による「新たな総合事業」について</p>	<p>整備計画に基づき順調に進められており、平成27年度予算にも整備予算が計上されている。住民は早い整備と進捗状況の広報を望んでいる。</p> <p>(1)平成26年度内の事業進捗はどのようになっているか。</p> <p>(2)近隣住民等への説明はどのようになっているか。</p> <p>音響効果の優れた亀岡会館の利用中止措置が行われ演劇や音楽活動の公演等がガレリアかめおかに移行せざるを得ない状況である。コンベンションホールの音響設備の改修、充実が利用者から望まれている。</p> <p>(1)音響設備の改修、充実の必要性をどのように認識しているか。</p> <p>(2)今後の具体的な方向性は、どのような事が考えられるか。</p> <p>月読橋球技場は市民スポーツの場として多くの市民が利用されているが、利用者が安全、安心に利用できるよう管理、整備が望まれる。</p> <p>(1)昨年、損害賠償事案が発生したが、どのような内容であったか。</p> <p>(2)ネット、支柱等の現状をどのように把握しているか。</p> <p>(3)改修等の必要性はどうか。</p> <p>(4)以前から課題となっているトイレの管理、改修は、どのようになっているか。</p> <p>国民健康保険の財政運営の主体を平成30年度から都道府県とする国保法改正案がまとめられた。平成30年度までの国保財政はどのような予測か。</p> <p>(1)京都府国民健康保険広域化等支援貸付金を利用するが、給付状況の伸びを考え今回の処置で今後賄えるのか。</p> <p>(2)保険料への影響は、どの程度と予測されるか。</p> <p>(3)平成30年度以降、亀岡市の負担はどのようになるのか。</p> <p>昨年の制度改正により、「新たな総合事業」が平成29年度から実施予定であるが、移行までの計画はどのようなものか。</p> <p>(1)受け皿の整備の進捗状況はどうか。</p> <p>(2)総合事業の中でボランティア、NPO等の活動補助の考えはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>所管部長</p>
12	<p>富谷加都子 3月11日(水) 15:40~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 介護保険制度改正について</p>	<p>介護保険制度が利便性のあるサービスへと進化する中で平成27年度介護保険制度改正に伴い、本市も第6期亀岡市介護保険事業計画素案が提示されたが、方向性を問う。</p> <p>(1)事業計画を作成され、本市を取り巻く介護の実態をどの様に認識しているのか。</p> <p>(2)介護保険制度改正にあたり、重きをおく取り組みは。</p> <p>(3)介護の人材確保が課題だが、本市において人材を養成する目的の受講講座開設は可能か。</p>	<p>所管部長</p>



		2 少子化対策について	<p>(4) 前年度実施されたケア会議の中で、市の課題で見てきたものは何か。</p> <p>(5) 事業計画策定にあたり調査分析の結果、認定を受けながら2割の方が、サービス利用無しとの状況である。未利用者の割合が高いと考えるが利用者が利用しにくい制度となっていないか。</p> <p>(6) 今回の介護報酬改定で、2.27%引き下げられたが、別立てで介護職員の給料は月額1万2千円の加算が確保されたが、全ての事業所が対象か。</p> <p>少子化の要因の一つである未婚化、晩婚化を少しでも抑制する手当てとして、婚活支援も有効と考えるが市としての見解は。</p> <p>(1) 自主的に、婚活事業を他団体で実施いただき、成果報告を聞き、継続実施するために市が支援をしてはどうか。</p> <p>(2) 平成25年12月の一般質問において、農業青年を対象に婚活イベント実施をされたとあったが詳細は。</p>	所管部長
13	奥村 泰幸 3月12日(木) 10:00~  一問一答	1 新火葬場計画について  2 エコトピア亀岡について  3 市道の整備と管理について	<p>平成10年に都市計画決定された新火葬場建設計画について質問する。</p> <p>(1) 火葬場建設に係る都市計画決定後、今日までの経緯は。(地元住民等への説明会開催など)</p> <p>(2) 既存火葬場の炉の大規模修繕は何年に行われたか。</p> <p>(3) 既存火葬場の炉の耐用年数はあと何年か。</p> <p>(4) 新火葬場建設予定時期は。</p> <p>(5) 4月1日に条例施行され、設置される新火葬場整備検討審議会の会議進行予定は。(委員の委嘱時期、会議開催回数など)</p> <p>既存埋立処分場について質問する。</p> <p>(1) 既存埋立処分場の使用可能な期間は。(東別院町との協定の内容)</p> <p>(2) これまで処分した量は。(処理可能な量の何%)</p> <p>(3) ごみの減量化に伴い、処分可能な期限は何年ほど延長できるのか。</p> <p>(4) 処分期間の延長について地元や下流域と協議をされているのか。また、その協議の進捗状況は。</p> <p>市道の整備及び管理について質問する。</p> <p>(1) 市道湯ノ花温泉線の整備が必要と考えるが、整備の是非は。</p> <p>(2) 市道湯ノ花温泉線整備計画策定の予定は。</p> <p>(3) 現在整備中の歩道等の工事の期間は。</p> <p>(4) 市道の路面凍結防止対策について、凍結防止剤散布の基準は。</p>	担当副市長 所管部長  担当副市長 所管部長  担当副市長 所管部長
14	田中 豊 3月12日(木) 10:35~  一問一答	1 安倍政権の「地方創生」について	<p>地方創生関連2法「まち・ひと・しごと創生法」と「地域再生法の一部改正法」が、昨年11月21日の参議院本会議で可決、成立した。</p> <p>(1) 「まち・ひと・しごと創生法」について「まち・ひと・しごと創生法」に対する所見は。</p>	市長 所管部長

		<p>「総合戦略」策定の努力義務について所見は。 この「総合戦略」は、国の策定する「総合戦略」に即して、都道府県・市町村は数値目標を入れた総合戦略を策定しなければならない。所見は。 地方分権どころか国からのトップダウンの計画行政がまたぞろ復活し、さらに交付金や補助金による財政誘導と結び付けられる可能性がある。所見は。</p> <p>(2) 「地域再生法の一部改正法」について、事業実施にあたって首相の調整・勧告権限が新設され、国主導の開発への条件整備がなされようとしている。所見は。</p> <p>(3) 「少子化」について、「地方創生」やその大前提である「増田レポート」の問題点は、人口減少や「少子化」が何故進んだのか原因分析がされていないことにある。「少子化」の原因はどこにあると考えるか。</p>	<p>亀岡市の人口は、本年1月1日で9万1548人であり、2002年(平成14年)から毎年減少しており、栗山市政が誕生した2003年(平成15年)1月1日の9万5766人と比べ4218人減少している。</p> <p>(1) 人口減少の原因はどこにあると考えるか。 (2) 第4次亀岡市総合計画では、2020年度(平成32年度)の目標人口を10万人としているが、どのように達成するのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>2 本市の人口について</p>	<p>3 登記・測量業務の委託について</p>	<p>登記・測量業務の公益社団法人京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会(公嘱協会)との随意契約について問う。</p> <p>(1) 平成26年度に公嘱協会へ委託した件数は。 (2) 委託した業務の配分は。 (3) 平成27年度も公嘱協会に、登記・測量業務を随意契約で委託するのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>4 公共交通の充実について</p>	<p>5 環境保全について</p>	<p>市議会の公共交通対策特別委員会は、平成25年12月12日付けで、亀岡市地域公共交通計画策定に関する提言7項目を市長に提出した。</p> <p>(1) この7項目が、本市の地域公共交通計画策定にどのように反映されたのか。 (2) 東西別院地域におけるデマンドタクシー導入についての計画は。 (3) ふるさとバス畑野コースF34系統、土ヶ畑午前9時1分発が土休日運休となっているが、日曜日運行の要望がある。所見は。 (4) 穂田野町鹿谷にふるさとバス乗り入れの要望がある。所見は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
			<p>西別院町万願寺大堂付近の建設廃材の野焼きについて問う。</p> <p>(1) 現地確認をしたのか。 (2) どのような対応をしたのか。 天川地域の産業廃棄物について</p>	<p>市長 所管部長</p>

			<p>(3) 撤去に向けて、どのような取り組みをしたのか。</p> <p>(4) 撤去の方針・計画は。</p>	
15	<p>湊 泰孝</p> <p>3月12日(木)</p> <p>11:10~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 職員研修について</p> <p>2 ふるさと納税について</p> <p>3 大規模スポーツ施設建設について</p> <p>4 耐震診断について</p> <p>5 桂川右岸道路について</p> <p>6 雨水排水計画について</p>	<p>亀岡市議会では、議会基本条例を制定し議会改革に取り組んできた。さまざまな研修や先進地視察を行い、二代表制の一翼を担う議会の立場を明確にすると共に、市民の代表である議員の活動のあり方など、研鑽を重ねてきた。その一方で、行政は従来どおりの考え方を持っているように感じると同時にギャップを感じる。</p> <p>(1) 二代表制のあり方についての所見は。</p> <p>(2) 議会に対しての要望は。</p> <p>(3) 議員研修への幹部職員の参加は。</p> <p>国の経済政策とは裏腹に地域経済は低迷が続いている。市税収入も依然として減少傾向にある。収入の確保を重点課題とし、ふるさと納税を活発にしていことが収入確保と地域経済の活性に繋がるのでは。</p> <p>(1) 亀岡市の現状は。</p> <p>(2) 先進地との差は。</p> <p>(3) 今後の積極的展開は。</p> <p>スタジアムの客席下部の空スペースに防災資機材や食料備蓄を行う計画がある。亀岡市民を網羅できる完備を期待する。</p> <p>(1) 当初の計画はどのような議論になっているのか。</p> <p>(2) 充実されるように強く望むが、所見は。</p> <p>木造住宅に関しては一定の補助が創設されているが、利用者は少数である。集客施設においても安全対策やバリアフリーなどの改修が求められている。</p> <p>(1) 補助の対象は。</p> <p>(2) 集客施設への補助は。</p> <p>(3) 市としての対応は。</p> <p>構想路線である道路計画を積極的に推進することが、亀岡の発展には欠かせない課題である。</p> <p>(1) 今後の計画は。</p> <p>大井町の長年の課題である雨水排水計画が、国営緊急農地再編整備事業と連携し、進められようとしている。</p> <p>(1) 市の用地確保の計画は。</p> <p>(2) 枝線水路との関連は。</p>	<p>市長 両副市長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
16	<p>小島 義秀</p> <p>3月12日(木)</p> <p>13:00~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 京都亀岡ハーフマラソン大会について</p>	<p>第1回京都亀岡ハーフマラソンを開催するにあたり、ソフト面・ハード面の取り組み計画を問う。</p> <p>(1) 平成27年度当初予算における予算配分は。大会の中心地となる亀岡運動公園の整備について</p> <p>(2) メモリアルゲートブリッジの安全整備と外観整備は。</p> <p>(3) 公園内で老朽化している施設の安全整備と外観整備は。</p> <p>(4) 陸上競技場の公式認定への影響は。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 京滋ドクターヘリ運航について</p> <p>3 市街化調整区域内における規制緩和について</p> <p>4 地域特産物について</p>	<p>(5) 駐車場とトイレ問題は。</p> <p>(6) 前日イベントの取り組み計画に対する周辺地域住民の理解度は。</p> <p>京都府議会一般質問の答弁で、山田知事は関西広域連合が新たに運航する「京滋ドクターヘリ」について「4月には訓練飛行を実施し、速やかに運航開始できるよう準備したい」と述べられ、新年度早期に運航を開始できるとの見通しを明らかにされた。本市における影響について問う。</p> <p>(1) 昨年度の本市におけるドクターヘリ出動回数は。ドクターヘリ離着陸場について</p> <p>(2) 離着陸の多い箇所は。</p> <p>(3) その理由は。</p> <p>(4) 離着陸の問題点は。</p> <p>(5) 必要性のある地域は。</p> <p>(6) 今後の離着陸場の方向性は。</p> <p>(7) 市民への周知は。</p> <p>市街化調整区域内における規制緩和について問う。</p> <p>(1) 市街化調整区域において、規制緩和の取り組みについての方向性は。</p> <p>本市の特産物振興によるまちおこしについて問う。</p> <p>(1) 各地域における特産物への取り組み状況は。</p> <p>(2) 曾我部町の「特産物を考える会」が中心となり取り組んでいる特産物についての所見は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
17	小川 克己 3月12日(木) 13:35~	<p>1 市道川関小林線の安全対策について</p> <p>2 市道清草7号線の通行規制について</p> <p>3 災害に強いまちづくりについて</p>	<p>市道川関小林線は、児童生徒の登下校の通学路として、また道路に面し横断をして出入りする千代川町自治会館は、高齢者の方々の利用も多いところである。路肩のカラー化なども進められているが、朝夕の通勤時間帯や国道9号の混雑時の迂回路ともなっており、交通量も多く、時には速い速度で通り抜けていく車も多く、危険を感じているところである。</p> <p>(1) 以前から地域より安全対策の要望も数々出ているが、道路管理者は近況の現状を確認・把握をしているか。</p> <p>(2) 道路管理者による路面の標示・設備等、速度抑制の未然の事故防止対策を早急に求めたいが所見は。</p> <p>千代川駅から国道9号に通じる市道清草7号線の安全対策通行規制について、平成26年度千代川町地域こん談事項の回答を疑問に思う。</p> <p>(1) 国道9号への迂回実態がなく交通量が閑散とあったが、どの時間帯で、どういう状況で調査がなされたのか。</p> <p>(2) 地元住民の合意形成も図られていないとあるが、地域住民が二度にわたり署名・捺印をしているが、それは合意形成とは言えないのか。</p> <p>近年、予期せぬ災害、異常とも言える豪雨が襲い、地震なども危惧されている。減災・防災について問う。</p>	<p>所管部長</p> <p>所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

			<p>(1) 各自治会単位で配付されている防災倉庫の備蓄品について、乾パンや毛布等の数量はどのような率でその数量を算出し配付しているのか。またその数量は十分といえるのか。</p> <p>(2) 収容避難所以外の一時避難施設・臨時避難場所の開設は誰が行い、それらのどの場所を使い開設、運用するのか、協議はできているのか。またマニュアルはあるのか。</p> <p>(3) 亀岡市デジタル移動通信システムが各町や団体に配備されているが、使用者(地域の役員)等がいざ災害時に使用できる様に取り扱い説明や訓練が十分できているか。</p> <p>(4) 高齢者の独り暮らしが増える中、平素は民生委員にお世話になっているが、災害時の高齢者や災害弱者と呼ばれる方の情報開示、各地域の地元自治会や自主防災会・消防分団との連携はどのようなになっているのか。</p>	
18	小松 康之 3月12日(木) 14:10~	<p>1 土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域について</p> <p>2 高齢者の移動の確保について</p> <p>3 市道中矢田篠線について</p> <p>4 病院事業について</p>	<p>府は土砂災害防止法による基礎調査結果を公開した。その内容と今後の対策について問う。</p> <p>(1) 西つつじヶ丘地内における状況についてその調査結果の内容はどのようなものか。</p> <p>(2) 地元説明会についていつ頃開催され、どのようなことを説明する予定なのか。</p> <p>(3) 安全対策について、関係区域が民有地の場合、市はどこまで関与するのか。</p> <p>高齢化が進む中、通院や買物などで使う交通手段が高齢者の生活に大きく影響している。特に運転免許証を自主返納された高齢者にとって移動の確保は重要な課題である。公共交通のあり方を問う。</p> <p>(1) コミュニティバス運行の目的と利用状況は。</p> <p>(2) 丘陵地にある西つつじヶ丘までコミュニティバスの延伸について考えは。</p> <p>西つつじヶ丘、東つつじヶ丘、篠町にとって同線は重要な生活道路である。安全確保について問う。</p> <p>(1) 同線開通の見通しは。</p> <p>(2) 今後の安全対策は。 速度制限 ガードパイプの設置 ダンプカー等大型車両の規制</p> <p>亀岡市立病院の院長が2月1日で交代された。</p> <p>(1) なぜこの時期に、こういった理由で交代されたのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 病院事業管理者</p>
19	奥野 正三 3月12日(木) 15:05~	1 人口減少について	<p>本市においては、平成13年をピークに毎年人口が減少している。人口減少は市の財政に直接関係し、全ての政策に影響が及ぶ。第4次亀岡市総合計画では、人口10万人を目指しているなかで今後の政策が求められる。</p> <p>(1) 人口10万人を目指しての計画はあるのか。</p> <p>(2) 人口減少に歯止めをかける政策は、どう考えて</p>	市長 所管部長

		<p>2 雇用が生まれ るまちづくりにつ いて</p> <p>3 西部地区の消 防行政について</p>	<p>いるのか。</p> <p>市内において雇用機会がないと、学校卒業後の子どもたちは親元から通勤するのがかなわず、市外へ出ていかざるを得ない。人口減少を止めるためにも企業誘致等が求められる。</p> <p>(1) 企業誘致の現状はどうか。</p> <p>(2) 今後の誘致計画、企業進出計画はあるのか。</p> <p>西部地区の安全安心のまちづくりは消防行政からと考える。貴重な人命財産を守るために火災、救急搬送等、緊急な対応が求められる。</p> <p>(1) 現在、西部地区の消防緊急対応をどう考えているのか。</p> <p>(2) 各町消防団員が、年々高齢化に伴い減少するなか、今後の消防対応をどう考えているのか。</p> <p>(3) 西部地区に消防署(分署)新設の考えはないのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
20	<p>福井 英昭 3月12日(木) 15:40~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 災害復旧と施 工業者と入札制度 について</p>	<p>一昨年、昨年と豪雨による災害が発生し、市としても全力での復旧に努められているが、その進捗について問うとともに、その復旧工事を行う土木業者の現状及び入札制度について問う。</p> <p>(1) 一昨年の台風18号、昨年の11号及び8月豪雨での被害箇所の修復の進捗は。</p> <p>(2) 災害復旧関係での入札の「取り止め」「不調」が目立つが実際はどうか。</p> <p>(3) そもそも「取り止め」「不調」とは、どのようなことをさすのか。</p> <p>(4) 「取り止め」「不調」の場合、入札のやり直しがあるのか。またその場合、どのような形で行われるのか。</p> <p>(5) 「不調」になった件に関しては、資料を見ている限り全ての業者が「辞退」をされているがその理由は。</p> <p>(6) これに対して、対策は取っているのか。 今、言われているのは人材不足であり、仕事量はあるが仕事する人がいないということを聞く。</p> <p>(7) 亀岡の土木業者については調査できているのか。</p> <p>(8) 市内の建設関係の会社数は、どうなったのか。</p> <p>(9) その経営状況をどのように考えているか。 今年も夏がやってくる。思いたくもないが災害も起きないとは限らない。そうした時、復旧してもらう市内業者がいない、という事態は最悪ではないか。 市内業者保護の観点からも、入札予定価格の事前公表には裏表があると思っている。公正な競争を促さず、落札最低価格の周辺を当て物のように入札が殺到するような事態が起こり、抽選での落札も生まれる。 そのようなことから、市内業者に痛みのみを与える結果にならないかと心配し、予定価格の公表のあり方を一定時期で見直すように一般質問でも求めてきた。</p> <p>(10) 予定価格の事前公表を実施し3年経過した中で、その成果と結果は。</p> <p>(11) 予定価格事前公表により、積算ソフトによっ</p>	<p>担当副市長 所管部長</p>

			<p>て類推されやすくなり、当て物になるのではないかと指摘したが、結果は。</p> <p>(12) 災害時の重機活用を含め、亀岡市と災害協定を交わし、実際にお世話になれるのは何社あるのか。また、それで十分なのか。</p>	
	2 市民の健康増進と扶助費の伸び抑制について	<p>扶助費、いわゆる社会保障費は増加する傾向にある。少子高齢化、人口減少社会の中で社会保障制度の枠組みの改善は喫緊の課題であり、国が制度改革を行うことが必須である。しかし当市においてもできることには取り組み、財政力を養う必要がある。</p> <p>(1) 亀岡市としてはどう考えているのか。</p> <p>(2) かめおか健康プラン21策定の予算を計上されているが、内容はどのようなものか。</p> <p>(3) 「あいうべ体操」を取り入れて、市民の健康維持を増進する考えは。</p>	市長 所管部長	
	3 (仮称) 亀岡産業会館建設の考えは	<p>亀岡会館は耐震問題で使用できなくなった。文化資料館については建て替えの議論があり、また、商工会議所は商工会館の建て替えを計画中である。亀岡駅舎に入っている観光協会事務所も、案内所としては良いが拠点としては手狭である。</p> <p>(1) 文化会館機能と展示機能、文化財保存機能は勿論、商工会館として、また観光のシンボルとして、そして、これらを統合した機能を持った「亀岡産業会館」を建設してはどうか。所見を。</p> <p>(2) 地方創生の流れの中、しっかりと計画をして提案すれば、国から非常に多くの補助金、交付金がもらえるのではないか。所見は。</p>	市長 所管部長	
	4 道路・河川整備について	<p>懸案のインフラ整備について問う。</p> <p>府道亀岡園部線保津橋南進部分について</p> <p>(1) 橋上交差点に信号機がつく見込みは。</p> <p>(2) 行ったきりの歩道の改修は。</p> <p>(3) 歩道の危険対策は。</p> <p>市道北古世西川線について</p> <p>(4) 全線開通は、いつごろになるのか。</p> <p>(5) 追分町から年谷川までの部分開通後、道路供用するのか。</p> <p>その他</p> <p>(6) セレマ前からJRアンダーパスで駅北へ入る道路の完成予定は。</p> <p>雑水川の整備について</p> <p>(7) 緑橋上流部工事の進捗状況は。</p> <p>(8) この部分へ入り込む支川を含めた整備は。</p> <p>(9) クニッテルフェルト通より下流部の河川整備完成により周辺の遊歩道も供用開始されることとなるのか。</p> <p>(10) 南郷池の出水口工事は、橋の架け替えと同時にとなると思うが、いつ頃になるか。</p> <p>(11) 南郷池の一部を浚渫したことにより、悪臭問題、貯水量、流量の問題は解決したのか。</p> <p>曾我谷川について</p> <p>(12) 城西小学校前で浚渫して頂いた。3年計画</p>	所管部長	

			で下流まで実施すると聞いていたが、行われていないのではないか。	
21	酒井安紀子 3月13日(金) 10:00~  一問一答	1 公共施設等総合管理計画の策定について  2 組織マネジメントについて  3 行政改革について	<p>亀岡市においては公共施設等総合管理計画の策定が進められているところであるが、計画策定までの公共施設等の新設や大規模改修においても方向性を合わせておく必要がある。</p> <p>(1) 市営住宅整備の考え方は。 (2) 京都・亀岡保津川公園整備の考え方は。</p> <p>厳しい社会経済情勢の下、一層の行政改革を進めていかなければならない。そのためには、市民の理解と協力が不可欠であり、まずは市民から信頼を得られるような組織体制を整備する必要がある。</p> <p>(1) スタジアム用地測量に関する監査結果を受けて、どのような対応を行ったか。 (2) 合法性・合規性のみならず、業務の有効性及び効率性を確保するための内部統制システムを構築していく考えはあるか。</p> <p>住民サービスを低下させないために取崩しを続けてきた基金も残りわずかとなった。基金に依存して今までどおりのサービスを維持することの限界は明らかである。</p> <p>(1) 事業の選択と集中はどのように行われているか。 (2) 予算要求のルールを明確化し、査定状況を公開してはどうか。 (3) 市民に財政状況を伝える取り組みをさらに充実するにはどのような手段があるかと考えるか。</p>	所管部長   所管部長   所管部長
22	菱田 光紀 3月13日(金) 10:35~  一問一答	1 市長の政治姿勢について  2 新規就農支援制度の変化について  3 防災計画の見直しについて	<p>市長は、施政方針で亀岡市の発展には交流によるまちづくりが重要で、そのための3つのキーワードを掲げられている。</p> <p>(1) 地域のポテンシャルを高めるための具体策は。 (2) 農林業の活性化やものづくり産業の振興がポテンシャルを高めることにつながるのではないか。</p> <p>新規就農者に対する支援制度は、ここ数年で随分充実してきている。新年度から制度が一部変わると聞けるが、亀岡農業のさらなる発展のため制度を充実すべきである。</p> <p>(1) 就農サポート事業から始まり、実践農場の支援が完了するまで支援の制度はどうなっているか。 (2) それらの中で今後、変更される制度にはどういったものがあるのか。 (3) それに代わる制度支援をすべきではないのか。</p> <p>近年の豪雨災害等により従前の防災計画や防災マップの見直しに早急に取り組むべきである。</p> <p>(1) 現在の防災計画の見直しはいつ行われたか。また、その根拠は。 (2) 地域で作成されている防災マップの見直しを促すべきではないか。</p>	市長  市長 所管部長  市長 所管部長



		<p>4 まちづくりコンシェルジュについて</p>	<p>多くの市民がそれぞれの思いでまちづくりについて調査研究をされている。まちづくりをすすめるうえで、地域のみなさんの思いや団体相互の情報交換等に役立つ「まちづくりコンシェルジュ」を置いて活用すべきではないか。</p> <p>(1) 現在、まちづくりに関する団体にはどういったものがあるのか。</p> <p>(2) それらの団体間の情報交換はどのようにされているのか。また、コーディネーター的な役割をする組織等はあるのか。</p> <p>(3) まちづくりコンシェルジュを募集してはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
--	--	---------------------------	---	--------------------